

料金後納

ゆうメール

育脳寺子屋本部・MAC — 算数&ソロバン・書写・英語・国語

2013. 5 . 1

MACNEWS

〒616-8156

京都市右京区太秦西野町20

TEL 075-871-0374. FAX 075-882-3777

Eメール mac.terakoya@gmail.com

URL <http://www.mac-terakoya.com>

今月号の内容

※ 中1ギャップに注意

※ どちらを選ぶ？

※ 今月の感想文より



えっ、そんなに慌てて進まなくても！

何と、新中1がすごいペースで授業に取り組んでいます。

数学では、5月中頃にある定期テストの範囲を大きくクリア、正負の数は、とっくに終了、次単元の文字式も終了するような状況です。

英語も、U4を終了、1学期範囲をゆっくりクリア。

勿論、全員ではありません。

このように理解度や進み具合に大きくばらつきがあるのに、学校や多くの塾では、未だに一斉指導をしているのです。

教師が大勢に一斉に教え込む近代の学校方式には無理があると言わざるを得ません。

したがって、これからの教育は、MACが10数年前から本格的に取り組んできた

「教わる」から「学ぶ」へ

と方向転換されるのが望ましいのですが・・・・

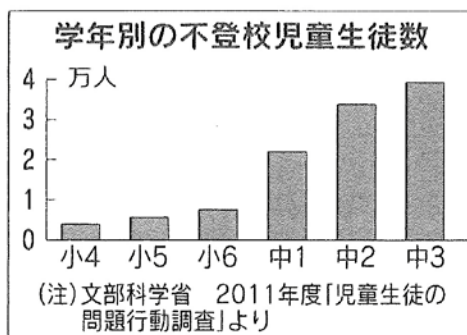
また、授業形態もMACの考案したオープンスペースでの対話を重視した個別対応指導、いわゆる江戸時代の寺子屋形式のような授業が見直されるのではないかと考えています。

成績・人間関係、進学後に戸惑い 中1ギャップ 優等生も注意

文部科学省による2011年度の児童生徒の問題行動調査では、不登校の数は小学6年では7522人なのに対し、中学1年では2万1895人と約3倍に跳ね上がる。「いわゆる中1ギャップの現れとみられる」(同省担当者)中1ギャップの原因の一つとして、小学校と中学校の接続がうまくいっていないという問題が指摘されている。学級担任制から教科担任制への変化のほか、各生徒が小学校から抱えている課題が中学校の教員に十分に引き継がれないといった課題もある。

不登校、小6の3倍

対策として文科省は小学校と中学校の連携強化を推進。中学校の教員が小学校で授業する乗り入れ指導などで、中学校進学時の不安を減らす効果が期待されている。



家庭と教員、連携し解消を

中1ギャップで注意したいのは、最初の定期テスト。

「こんなはずではなかった」という成績による挫折感を味わうことにより、中1ギャップを悪化させる子が出てくるのです。

更に、それに追い打ちをかけるのが、親の叱責！ 叱れば、叱るほど成績は落ちると思った方が良いでしょう。

そのようなことにならないためにも、中学部での授業に早く慣れ、全員が定期テスト1週間前には、MACに来なくてもいいように授業を進めて欲しいですね。

どちらを選ぶ？

私は、学生時代に中央卸売市場にある仲卸の会社でアルバイトをしたことがあります。

最初は昼間の時間帯での仕事でしたが、途中で夜間の時間帯に変わりました。時間給が高かったからなのですが、学費を自分で支払う学生だったので、少しでも収入の多い方と考えたのです。

でも、学生のアルバイトでなかったら夜勤を選ぶことはなかったでしょう。

なぜなら、それより低い時間給であっても、時間の経過と共に、経験したことが生きてくるそのような仕事に就いていなければ、将来につながることはないからです。

どちらかを選ぶ場合の選考基準は、「えっ！得する方、楽な方ってですか？」

それで、「モノ」になれば良いのですが・・・・・・・・

でも、周りにはこのような基準で動く人がとても多いのです。

また、日本社会はいつも入り口は一生懸命考えるけれど、出口まで想定していないことが多いと言われています。

皆さんもご存じのように、大学院の重点化によって博士課程の定員を増やした結果、就職口のない「ポスドク（常勤研究職になる前の研究者・・・ポストドクターの略称）」が大量に発生。また、司法試験改革も、弁護士になったものの、就職できない人を多く生み出しました。

同様に、子供達の勉強にしても、周りの多くの塾では、子供達に考えさせることなく次々に答えを教え、これを覚えればテストで良い点が取れると目先のことに終始しています。全く先のことが見えていないのです。このような勉強の仕方、仕事が出来ない人材に育つはずがありません。

それでは、学歴は仕事の成功につながるのでしょうか？

その前に、仕事の成功とは何かを考えなければなりません。

仕事の成功を「権威、ポジションの獲得」・・・大企業や官庁での高いポジションを得る

「ビジネスでの実績（それに伴う報酬の獲得）」・・・自分で事業を立ち上げる、
芸能人や職人として成功

学歴は、成功をどう意味づけるのか、ゴールをどこにおくのかによって重要性が異なって

ることを考慮するべきではないでしょうか？

また、昔は10人に1人が大卒でした。でも、今は2人に1人が大卒です。そのようなことも合わせて考える時代になっているのです。大学を出れば何とかなるは幻想に過ぎません。

ところで、保護者の皆さんは、子供達にどのような力をつけてほしいですか？

月

2013年(平成25年)3月28日

木曜日

13版

26

朝日新聞社とベネッセ教育研究開発センターが共同で実施した「学校教育に対する保護者の意識調査」の結果がまとまった。3度目となる今回の調査では、初めて私立中学を調査対象に加え、公立との比較が可能になった。子どもの学力や受験、教育政策などをめぐり、親たちはどんな思いを抱いているのか。

思いは

社会で役立つ力に期待

いまどきの保護者が求める学力とは――。教育や指導に望むことを聞くと、課題発見力や論理性など、社会生活で役立つ力への期待が強いことがうかがえた。「課題を発見する力」について、「とても」「まあ期待する」の合計は86・2%。「論理的に考える力」は84・1%。「物事を多面的に考える力」(87・9%)や「主体的に行動する力」(88・8%)も、9割近かった(グラフ)。

単なる知識より課題発見力や論理性

学校は「教科に関する知識」と「社会で活用できる力(コミュニケーション力など)のどちらを重視すべきか――。この問いでも、「社会で活用できる力」と答えたのは66・7%で、「教科に関する知識」の30・2%を大幅に上回る。回答の傾向に小学校と中学校で大差はなかった。

2002年からの学習指導要領で導入された「総合的な学習の時間」は、現行の指導要領では授業時間が減っている。今回、総合学習の削減に「賛成」「どちらかといえば賛成」の合計は23・8%。前回(48・0%)は「わからない」の選択肢がなかったため、厳密な比較はできないが、減少傾向だ。逆に、削減に「反対」「どちらかといえば反対」は08年の計36・8%から15%増え、今回は51・8%となった。総合学習の継続に一定の支持があり、完全な廃止までは望まれていない様子がうかがえる。

現行の学習指導要領は、小学校高学年での外国語を必修にしている。低学年から英語を学習すべきかどうかを尋ねたところ、「賛成」「どちらかといえば賛成」の人は計74・0%で、反対派を大きく上回った。学校への期待では「実際の場面ですせる英語力を育てる」は62・5%が「期待する」と回答。04年、08年から大きな変化はなかった。

(朝日新聞とベネッセ教育開発センターが実施した「学校教育に対する保護者の意識調査」より)

社会で役立つ力＝受験に役立つ学力 ではありません。

受験勉強では、「苦手を克服する」ことに力を注ぎます。

範囲（教科と出題の範囲）と上限（１００点）も決まっています。

生徒達にもよく言うのですが、社会に出れば１００点を取れば良いのではなく、周りには２００点、３００点、更には５００点、１０００点を出す人もいます。定められた範囲や上限はない、と。

就活でモノを言うのは成績だけではない、本人の現在の能力以上に、これから先の伸びしろ。意欲と関心を欠いた人材には、企業は手を伸ばすことはない、とのこと。

そのためには、学力の前提になる「読み・書き・ソロバン」を習得する必要があります。これは、勉強嫌いであっても、社会で役立つには必要・不可欠なモノです。

大学は出ているけれども、書く文字は乱雑、簡単な計算も電卓がなければできない。そのような人が増えているのは、目の前の成績さえよければ、勉強さえできればという学習の仕方に問題があるのです。

何よりもまず、学習教科の基礎・基本をしっかりと習得し、なおかつ、**やらされ勉強ではなく自立・自律学習の習慣を身につけ**、次なるステップに進むべきです。そうでなければ意欲と関心のある人材を育むことは出来ません。

また、勉強ばかりに目を向け、成績ばかり追っていると、それよりもっと大切なこと、礼儀や躄け、善悪の判断が疎かになってしまいます。

新聞でも報道されていた、神戸大や同志社大の男子学生のＵＳＪでの目に余る迷惑行為。大学生になっても、やっていることは小学生以下、勉強さえ出来ればの最たるモノではないでしょうか？

でも、たとえ勉強が苦手でも、「他人から好かれる」「強い動機を持っている」「他人を巻き込むのが上手い」など人間関係の構築に優れた人の方が大きな成功を収めていることに注目すべきです。

勿論どちらもクリアできればいいことはないのですが・・・・・・

今月の感想文より・・・授業を見学して

いつも お世話に ありがとうございます。MACに 楽いて 通わせて
頂いています。先日 4年ぶりに、授業を 見学させて頂き、異年齢の
子どもたちが みんな 静かに 落ち着いて、授業を していたので、
感心しました。暗算の 答え合わせも 先生との やり取りが とても
楽しそうでした。何より 先生の 声が 大きくて みんな ピリッと
していましたね。長い時間ですが 眠気にも おそわれぬ 空気感と
整理整頓されている教室の 環境の よさ .. 驚きでした。

先日は次男もお世話になり、誠に有難うございました。家では何ひとつ教え
ていないのに、体験に参加させてもらっても、時間内 集中が 持続できるか とても
心配だったのですが、先生の話を聞いて 取り組むことが出来、自宅へ帰ってから
楽しかった様子を 見て嬉しかったです。

普段 通わせて頂いてると、どんな 雰囲気の中、どの様に 授業を受けさせて頂いて
るのか わからなかつたのですが、とても 和やかで、それでいて、それぞれが 自分のペースで
計算した流れで 取り組んでいる姿に、感心させられました。

学年を重ねる度に、取り組む内容が 違うのも、それに 向かう姿勢の 成長を感じ
させてもらえて、体験の 通して、子供が とても 感動させて頂きました。

トライアル1冊終了時の感想文について

トライアル、ワークの 感想 書くのが 大変ですが、そのたびに、
トライアル、ワークを よく 見て いい所を さがし、会話が でき、
そこに いい所 ですね。

トライアルの 感想 が なかったら、もしかしたら、中身を見たり
ほめ たり して なかった かもしれませんね。子供も トライアルから 終わっても
見えない 可能性も ありますので、子供にとって 褒められる 機会が
増えるので 良いですね。

子ども達は、お母さんに褒められるのが一番嬉しいということをお忘れなく(^o^)

65%の子どもは今ない仕事に就く

「2011年秋に小学生になる子どもの65%は今ない仕事に就く」。

(米デューク大学、キャシー・デビッドソン教授)

今後20年間で、大きく職業が変化します。その背景には、ITの影響力の拡大があります。
現在の学校教育は、100年以上前から続く制度をそのまま使っており、グーグルで検索すれ
ば誰でも解けるような暗記試験ばかりが重要視されているのです。ITの動きを踏まえ、子
ども達にとって何が必要かを真剣に考えるときがきています。